

## 2025年度 修士課程入学試験（秋期）

### 試験問題〔一般〕

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

---

問題を全て答えなさい。全受験生共通問題です。

マーク解答用紙に記載された方法に従って解答すること。それ以外の方法で解答した場合は採点されません。

---

I.

各設問の空欄（ 1 ）から（ 10 ）に当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選びなさい。

【問題 1】

20 世紀初め、早稲田大学教授（ 1 ）は、いわゆる「野球害毒論」に対抗して、野球は単なる身体トレーニングにとどまらず、精神修養のためにも優れたスポーツだとして、これを擁護した。

ア. 安部磯雄    イ. 大隈重信    ウ. 飛田穂洲    エ. 橋戸信

【問題 2】

人々がどのようにスポーツへかかわるかは、収入、財産、教育、職業、交友関係などによって分類される（ 2 ）によって異なっている。

ア. 階級    イ. 出自    ウ. 象徴    エ. 制度

【問題 3】

1915 年に（ 3 ）は中等学校生による全国的野球大会を創設した。

ア. 大阪朝日新聞社    イ. 大阪毎日新聞社    ウ. 東京朝日新聞社    エ. 読売新聞社

【問題 4】

インドネシア共和国バリ島のケチャでは、大勢のコーラスが腰を下ろしている中で、ダンサーが（ 4 ）物語の登場人物を演じる。

ア. イーリアス    イ. ドン・キホーテ    ウ. マハーバーラタ    エ. ラーマーヤナ

【問題 5】

よい体育授業を成立させるための基礎的条件として、効果的なマネジメントや（ 5 ）の確立などがあげられるが、それらは学習の勢いを生み出す要因になるといわれている。

ア. 学習規律    イ. グループینگ    ウ. 指導方針    エ. 授業目標

【問題 6】

体育授業で実施する（ 6 ）授業評価は、単元の実施過程において児童生徒の学習状況を見極め、必要に応じて軌道修正を行ったり、個別指導を組み入れたりするために用いられる。

ア. 形成的    イ. 個別的    ウ. 診断的    エ. 総括的

【問題 7】

ドイツのスポーツ教育学者グルーベが示した「スポーツの意味（1997）」とは、①身体の経験と自己の人格の経験、②健康と安寧、③興奮と緊張、④他人との結びつき、⑤モノの経験および自然とのかかわり、⑥（ 7 ）、⑦プレイ性の計7つです。

ア. 遊びとゲーム    イ. 自己犠牲とフェアプレイ    ウ. 美意識とドラマ性  
エ. 目標設定と自己実現

【問題 8】

1995 年に全米における体育の到達基準を表したナショナルスタンダードが示され、そこでは（ 8 ）が体育の目標とされた。

ア. 新体育運動    イ. 身体的に教養を備えた人間    ウ. スポーツによる人間形成  
エ. みんなのスポーツ

【問題 9】

スポーツ科学 sport sciences の science の祖語である scientia は（ 9 ）語である。

ア. 英    イ. ギリシア    ウ. ドイツ    エ. ラテン

【問題 10】

（ 10 ）とは、スポーツマンシップや世界平和にかかわる精神文化、競技の規則や技術にかかわる技術文化、IOC のような運営組織にかかわる社会文化の三者から成り立っている。

ア. スポーツ科学    イ. スポーツ共同体    ウ. スポーツ経営    エ. スポーツ文化複合

## Ⅱ.

各設問の空欄（ 11 ）から（ 20 ）にあてはまる最も適切なものを、下記の語群から1つずつ選びなさい。

### 【問題 1】

パラリンピック大会は（ 11 ）年に始まった。（ 12 ）大会から、オリンピック開催国と同一国で開催されるようになり、（ 13 ）大会からは、オリンピック開催直後に開催されるようになっている。スポーツビジネスとして、パラリンピック大会をみるとき、（ 14 ）はオリンピック大会と異なっている。

- |                           |         |         |       |
|---------------------------|---------|---------|-------|
| ア. 1932                   | イ. 1936 | ウ. 1960 | エ. 東京 |
| オ. ロサンゼルス                 | カ. ソウル  | キ. ローマ  |       |
| ク. スポンサーシップ収入を得ることができること  |         |         |       |
| ケ. 会場看板広告を出することができること     |         |         |       |
| コ. サプライヤーのロゴを表示することができること |         |         |       |

### 【問題 2】

日本のスポーツ行政の基本法として初めて制定されたのは（ 15 ）年の（ 16 ）である。その後、（ 16 ）に基づき、国民体育大会の実施、そのためのスポーツ施設整備などが推進された。（ 16 ）は、（ 17 ）年に全面改正され、（ 18 ）が成立した。

- |            |            |            |          |
|------------|------------|------------|----------|
| ア. 1945    | イ. 1960    | ウ. 1961    | エ. 体育振興法 |
| オ. スポーツ振興法 | カ. スポーツ基本法 | キ. スポーツ推進法 | ク. 2010  |
| ケ. 2011    | コ. 2012    |            |          |

### 【問題 3】

日本において賭博は刑法上違法である。競馬、（ 19 ）、競艇、オートレースは賭博に該当するが、特別法によって合法化されている。（ 20 ）は賭博に該当するものの、特別法で合法化されていない。

- |              |            |           |          |
|--------------|------------|-----------|----------|
| ア. プロ野球      | イ. ゴルフ     | ウ. 競輪     | エ. 大相撲   |
| オ. ゴールボール    | カ. ゲームセンター | キ. メダルゲーム | ク. ボーリング |
| ケ. パチンコ・パチスロ | コ. チェス     |           |          |

Ⅲ.

各設問の空欄（ 21 ）から（ 30 ）に当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選びなさい。

【問題 1】

減量を伴う階級制の競技選手の中には、食事や水分摂取の制限によって免疫機能に関わる（ 21 ）の機能低下が確認されたという報告がある。

ア. T細胞 イ. 赤血球 ウ. 血小板 エ. 神経細胞 オ. 肝細胞

【問題 2】

暑熱環境で発症する疾患の一つである（ 22 ）は、皮膚血管の拡張などにより脳血流が減少することで引き起こされる。

ア. 熱射病 イ. 熱失神 ウ. 熱疲労 エ. 日射病 オ. 脱水症

【問題 3】

（ 23 ）尿は、激しい運動によって筋肉中の（ 23 ）が血液中に流出することで発生し、この病態を横紋筋融解ともいう。

ア. ヘモグロビン イ. アルブミン ウ. ミオグロビン エ. フェリチン  
オ. トランスフェリン

【問題 4】

頸髄損傷の受傷メカニズムは頸部の（ 24 ）によるものが多い。

ア. 回旋 イ. 過伸展 ウ. 過屈曲 エ. 側屈 オ. 垂直圧迫

【問題 5】

運動行動の変容ステージは5段階に分類することができ、近い将来には運動する意図はあるが、現在はまだ運動していない段階にいる者は（ 25 ）期に該当する。

ア. 前熟考 イ. 熟考 ウ. 準備 エ. 実行 オ. 維持

【問題 6】

4METs 相当の運動の例として60分の（ 26 ）が挙げられる。

ア. 速歩 イ. ジョギング ウ. テニス エ. 水泳 オ. 縄跳び

【問題 7】

2METs の運動を 2 時間行った場合、その身体活動量は ( 27 ) Ex と表すことができる。

ア. 1    イ. 2    ウ. 4    エ. 8

【問題 8】

無酸素性トレーニングの中でも、継続時間が 30～90 秒継続する運動では ( 28 ) 系の代謝が利用される割合が高くなる。

ア. クエン酸回路    イ. 酸化    ウ. 乳酸    エ. ADP-CP    オ. ATP-CP

【問題 9】

筋力の向上と筋肥大を目的としたトレーニングを ( 29 ) トレーニングという。

ア. レジスタンス    イ. プライオメトリック    ウ. エアロビック    エ. アジリティ  
オ. バランス

【問題 10】

トレーニングプログラムの強度や負荷を ( 30 ) に上げていくことは、傷害の再発や二次的傷害を引き起こすリスクを最小限に抑えることにつながる。

ア. 緩徐的    イ. 漸進的    ウ. 突発的    エ. 変則的    オ. 急進的

IV.

【問題 1】

各設問の空欄（ 31 ）～（ 34 ）に当てはまる最も適切な語句、用語、または数値を選択肢から 1 つずつ選びなさい。

- ・最大酸素摂取量を規定する因子の一つである肺胞でのガス交換能力の個人差には、肺の毛細血管密度だけでなく（ 31 ）も関与する。
- ・速筋線維も遅筋線維も（ 32 ）である。
- ・骨格筋の（ 33 ）は、筋に接続している全ての  $\alpha$ -運動神経から刺激を受けた際に発揮される。
- ・局所的な血流制限下で筋収縮を繰り返すと、その運動時の（ 34 ）と努力感が増大する。

ア. ヘモグロビン濃度	イ. ミオグロビン濃度	ウ. 直径約 $1\mu\text{m}$	エ. 筋束の集合体
オ. 細胞	カ. 最大筋力	キ. 随意最大筋力	ク. 筋力
ケ. 力の知覚	コ. 筋量		

【問題 2】

各設問の空欄（ 35 ）～（ 37 ）に当てはまる最も適切な数値を選択肢から 1 つずつ選びなさい。

- ・日々トレーニングを行っている体重 70 kg のスポーツ選手が必要とするたんぱく質摂取量は、一日当たり凡そ（ 35 ）グラムである。
- ・スポーツ心理学の最初の実験研究は、およそ（ 36 ）年前に発表された。
- ・スポーツ映像を用いて定量的な 3 次元動作解析を行うには、少なくとも（ 37 ）台のカメラを用いて異なる方向から分析対象動作を撮影する必要がある。

ア. 1.5	イ. 2	ウ. 3	エ. 8	オ. 65	カ. 105	キ. 125	ク. 150
--------	------	------	------	-------	--------	--------	--------

【問題 3】

各設問の空欄（ 38 ）～（ 40 ）に当てはまる最も適切な用語を選択肢から 1 つずつ選びなさい。

- ・運動する物体の位置や向きを定量化したデータのことを（ 38 ）という。
- ・相手のフェイント動作につられて生じた不適切な反応と、切り替え動作に対処しようとする修正反応のような『反応コンフリクト』は、脳内の（ 39 ）で処理される。
- ・脳の活動を測定する方法は複数あるが、特定の脳部位の機能を推定する方法として用いられるのは（ 40 ）である。

ア. 反射マーカデータ	イ. キネマティックデータ	ウ. キネティックデータ
エ. 大脳皮質	オ. 一次運動野	カ. 前帯状皮質
キ. 磁気共鳴画像法	ク. 経頭蓋磁気刺激法	ケ. 超音波画像診断法



V.

各設問の（ 41 ）から（ 50 ）に最も当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選びなさい。

【問題 1】

従来の教育的配慮を持つことに加えて、（ 41 ）を取り巻く環境や個々の意識、競技水準等を勘案する中での指針がコーチング（ 42 ）として形成されていき、それらをまとめる中で基軸となる（ 42 ）が確立されていきます。

ア. スポーツ	イ. システム	ウ. 社会	エ. 選手
オ. インテグリティ	カ. フィロソフィ	キ. コーチ	ク. メソッド

【問題 2】

（ 43 ）および国民の生活様式の変容から、スポーツ全般の果たす役割が見直されてきているものの、学校の運動部活動における部員数は減少傾向にあり、（ 44 ）によって学校教育における競技スポーツが衰退している傾向があります。

ア. 二極化	イ. 運動部離れ	ウ. 指導者	エ. 健康志向
オ. 財政難	カ. 勝利至上主義	キ. 少子高齢化	ク. 環境

【問題 3】

「技術」にはいくつかの特性があるといわれています。

（ 45 ）：オリンピックで優勝した選手が用いている技術は、それを行う上で「うまい」「下手」はあっても同じ技術を他の選手が真似ることはできるはずです。

（ 46 ）：多くの技術は、時間とともに変化していきます。より速く走りたい、より高く跳びたい、より上手になりたい、というのはすべてのスポーツ選手の望みであり、スポーツの本質ですから、これまでに多くの選手やコーチの試行錯誤から、多くの技術が生み出されてきました。

ア. 個別性	イ. 一般妥当性	ウ. 競技特性	エ. 合目的性
オ. 経済性	カ. 時間的限定性	キ. 全面性	ク. 多様性

【問題 4】

以下のいくつかの段階を経てチームは創られていきます。

( 47 ) : 次に、自らのこと、チームのことを客観視して把握します。日本人は相手などを観察することは優れていますが、自らのことを客観視することは劣っているようです。しっかりと把握することがポイントになります。

( 48 ) : 最後に実際にどのようにしてビジョンに近づくか、そのためには Priority (優先順位) を決定して計画を立てて近づいていかなければなりません。

ア. ギャップ	イ. アクション (戦略実行)	ウ. コミットメント
エ. ゲーム分析	オ. ビジョン (Vision)	カ. フィードバック
キ. 現状把握	ク. 全体構想	

【問題 5】

( 49 ) は、スポーツの競技力向上にとどまらず、アスリートが社会で活躍していくために必要不可欠なものとなります。そのため ( 50 ) には、アスリートの将来を見据え、アスリートの ( 49 ) を高めること、そして彼らが獲得した ( 49 ) を自信を持って社会生活の中で活用できるように働きかけるかかわり方が求められています。

ア. 運動技術	イ. 一貫指導	ウ. 教育機関	エ. アナリスト
オ. 指導者	カ. 中央競技団体	キ. 競技成績	ク. ライフスキル